■離乳後期(生後9~11か月ごろ)以降 1日3回食 ■

前歯でかじりとり、歯ぐきでつぶすことを覚える時期です。 食事のリズムを大切に家族で楽しく食事をしましょう。

うどんの炒め煮



【材料 作りやすい分量】
茹でうどん 1/2玉
ツナ(水煮) 1/4缶
にんじん、キャベツ、
玉ねぎなど30g
油小さじ1
水1/2カップ
しょうゆ少々

【作り方】

- 茹でうどんを 7mm ~ 1cm にきざむ。
 野菜は茹でて、食べやすい大きさに切る。
- ② ①と汁を切ったツナを油で炒め、水を加えて やわらかくなるまで煮る。 最後にしょうゆを加える。

トマトツナパスタ



【材料 作り	ノやすい分量】
マカロニ	40g
	1/2個
ツナ(水煮)	1缶
バター	
粉チーズ	少々

【作り方】

- ①マカロニは袋の表示時間より長めに茹でる。
- ② トマトは皮と種を取り、ざく切りにする。
- ③ 鍋を火にかけてバターを溶かし、汁を切ったツナ、 ①、②を入れて炒め、仕上げに粉チーズをふる。
- ※ マカロニはシェル型やねじり型だとソースがよくからむ。

三色ナムル



	【材料	作りやす	い分量】
小小	松菜…	•••••	30g
に	んじん	,	10g
ŧ,	やし…	•••••	20g
	゚゙ごま	油	少々
A	酢…	•••••	少々
	ししょ	うゆ	少々

【作り方】

- ① 野菜は茹でて、にんじんは 7mm 角、小松菜ともやしは食べやすくきざむ。
- ② 耐熱容器に①とAを入れて混ぜ、ふんわりとラップをかけ、電子レンジで加熱する。

ビーフシチュー



【材料 作りやすい分量】	
牛ひき肉 100	g
玉ねぎ1/4個	∄
じゃがいも 1個	Ŧ
にんじん 1/32	Ż
バター大さじ	1
小麦粉 大さじ	
ケチャップ大さじ1程度	
水1/4~1/2カップ程度	麦

【作り方】

- ① 野菜は茹でて、じゃがいもは 1.5cm 角、にんじんと玉ねぎは 7mm 角に切る。
- ② 鍋を火にかけてバターを溶かし、牛ひき肉を炒め、小麦粉をふり入れる。
- ③ ②に①と水または茹で汁を加え、水分をなじませる。
- ④ ③にケチャップを入れて弱火で煮込む。

そぼろ煮



【材料 作りやすい分量】 ひき肉50g
じゃがいも1個
だし汁1カップ
┌ 砂糖小さじ1/2
A しょうゆ小さじ1/2
└水大さじ1
水溶き片栗粉少々

【作り方】

- ① じゃがいもは茹でて 1cm 角に切る。
- ②鍋に①とだし汁を入れて煮る。
- ③ ひき肉とAをよく混ぜてから②に加え、肉に火が通ったら、水溶き片栗粉を加え、とろみがつくまで加熱する。

ひき肉をやわらかく仕上げるコッ

ひき肉と調味料や水分を混ぜてから加熱すると、 肉の水分や脂が抜けにくく、やわらかく仕上がる。

レバーマッシュ



【作り方】

- ① レバーは流水で洗い、茹でる。
- ② ①を細かくきざみ、すり鉢などですりつぶす。
- ③ 茹でてつぶしたじゃがいもと②を合わせ、牛乳を加えてのばし、風味づけにバターを加える。
- ④ ふんわりとラップをかけ、電子レンジで約 20 秒加熱する。

野菜の白和え



	【材料 作りやすい分量】
l	にんじん10g
	ほうれん草15g
	豆腐······30g
	┌ だし汁小さじ1程度
1	A 砂糖 ひとつまみ
	しょうゆ少々

【作り方】

- ① 野菜は茹でて、にんじんは 7mm 角、ほうれん草は食べやすくきざむ。
- ② 耐熱容器に豆腐を入れて電子レンジにかけ、ペーパータオルで水気を軽くとる。
- ③ ②をつぶして A と①を加えて混ぜる。
- ④ ふんわりとラップをかけて電子レンジで加熱する。

じゃがいもとツナの炒め煮



【材料 作りやすい分量】
じゃがいも50g
玉ねぎ20g
ツナ(水煮) 1/2缶
油小さじ1/2
だし汁適量
砂糖ひとつまみ
しょうゆ 少々

【作り方】

- ① 野菜は茹でて 7mm 角に切る。
- ② 玉ねぎを油で炒め、じゃがいも、汁を切ったツナ、だし汁を加えて煮て、砂糖としょうゆを加える。

かきたま汁



ı	【材料 作りやすい分量】
	卵1個
	焼きのり適量
	だし汁 ·······1と1/2カップ しょうゆ ·······少々
	水溶き片栗粉少々

【作り方

- ① 鍋にだし汁を入れて火にかけ、沸騰したら、細かくちぎった焼きのり、しょうゆを加え、水溶き片 栗粉でとろみをつける。
- ② 割りほぐした卵を少しずつ流し入れ、火が通るまで加熱する。

離乳完了期(生後12~18か月ごろ)

形のある食物をかみつぶすことができるようになり、エネルギーや栄養素の大部分が母乳または育児用 ミルク以外の食物からとれるようになると、離乳の完了です。

1日3回の食事のリズムを大切に、生活リズムを整えましょう。 手づかみ食べから自分で食べる楽しみを経験し、□へ詰め込みすぎたり、食べこぼしたりしながら一□量 を覚えます。

食事のほかに、補食(間食)を必要に応じて 1~2回与えます。乳製品や果物など、食事 でとりきれないエネルギーや栄養素を補うも のにしましょう。

